

令和4年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 みやき町 (都道府県:佐賀県)

1.当該地域の情報(令和4年12月現在)

地域の課題	<p>本町に居住する外国人住民の割合では、令和4年12月末現在で技能実習生が約半数となっている。新型コロナウイルスの影響による出入国の制限が緩和され、また、技能実習生を受け入れる企業が増加の傾向にあるため、今後益々外国人の増加が見込まれる。</p> <p>技能実習生については、ほとんどが企業周辺に居住し、生活圏も町内であるものの、日本人住民と触れ合う機会が少ないため、地域住民のひとりとして地域で受け入れる体制が整っていない。そのため、地域住民と町内に居住する技能実習生が同じ地域住民として支え合う関係を構築することが課題であり、多文化共生の推進が重要であると思われる。</p> <p>また、技能実習生以外の外国人住民についても同様であり、日本人住民が多文化共生について理解し、日本人・外国人住民が共創し豊かなまちづくりを推進していくことも課題であると思われる。</p>
在住外国人数 外国人比率	246人 0.96%
在住外国人の 状況	<p>【主な国籍と人数】ベトナム 86人 インドネシア 40人 中国 35人 フィリピン 26人 ネパール 22人 ミャンマー16人 スリランカ7人 韓国6人 カンボジア3人 タイ2人</p> <p>【在留資格】技能実習1号 77人 永住者 39人 技能実習2号 35人 技能実習3号 18人 特定技能 15人 家族滞在 14人 技・人・国 11人 介護 9人 日本人の配偶者等 8人 定住者 6人</p> <p>【滞在年数・在留期間などの状況】</p> <p>技能実習生が半数を占めており、次いで永住者が多い。永住者や定住者等の長期滞在者は横ばいであるが、技能実習生を受け入れる企業の増加に伴い、2~3年程度の滞在者の増加が顕著である。</p>
在住外国人の 日本語教育の現状	<p>本町の国際交流事業としては、外部団体である「みやき町国際交流会」が、日本に居住する外国人を講師に招き、「食文化交流会」を通して異文化を理解し、日本人と外国人が交流する活動を行っているが、町全体として増加の傾向にある外国人が「生活者」として本町に居住し、安全安心な生活ができるよう様々な支援に取り組む体制が整っていない状況であった。</p> <p>このような状況を踏まえ、令和元年度から本事業を活用し、行政、企業、地域住民が連携して「日本語教室」の基盤づくりに取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、事業の遂行ができない時期もあったが、令和4年度については、計画どおりに日本語教室を開催し、小規模であるが日本語教室の基盤が整いつつある。</p> <p>オンライン教室を対面型と並行して実施するなど、学習者が参加しやすい環境を整えたが、参加者拡大に繋がっていないため、今後、外国人のニーズに即した教室運営、事業の広報活動など検討していく必要がある。</p>

2.事業の内容

本プログラム取組年数	4年目
事業の目的	<p>日本語教室の運営体制を整備し、本事業終了後において、継続的に日本語教室を実施する。</p> <p>外国人受入企業へ積極的に訪問し、事業のPR及び教室への参加を促し、外国人と地域住民が交流できる機会を提供し、地域全体で多文化共生を推進する。また、次年度以降の町主体の自主運営を見据えて、財源を確保するとともに教室の安定運営を図っていくため、行政や地域住民、企業等の連携体制を構築する。</p>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な日本語教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ○学習型教室(水曜日:夜教室) ※オンライン及び対面 ○交流型教室(日曜日:昼教室) ※対面 月2回日本語教室を開催し、日本語の習得を目的とする学習型教室、生活の様々な場面をテーマに「やさしい日本語」で会話し、交流を通して多文化共生の推進を図ることを目的とする交流型教室の目的別に内容を工夫して教室を行った。 教室開始前に教室の内容、ポイント、教室の進め方等をサポーターと共有した。 ・継続的な企業訪問 <ul style="list-style-type: none"> 継続的な企業訪問を行い、日本語教室への積極的な参加を呼び掛けた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなサポーター(ボランティア)人材の確保 現在のサポーターの年齢が高齢化していることを踏まえ、若い人材の確保を行うために、事業活動を町広報で発信し、若年層へ日本語教室への積極的な参加を呼び掛けた。 			
事業の対象期間	令和4年4月～令和5年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった月もあるが、定期的な教室を開催できる体制を整えることができた。 また、庁内各部署や他の機関と連携し、ゴミや防災、交通ルールなど日常生活における必要な情報をテーマに教室を開催することができた。 ・企業の継続的な訪問 企業訪問を積極的に行うことにより、企業の担当者や外国人労働者に、日本語教室や町の多文化共生に関心を持ってもらうことができた。 いくつかの企業において、積極的に日本語教室に参加するよう、外国人労働者へ呼びかけてもらった。 			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	橋本 美雪	みやき町国際交流会	—	システムコーディネーター
	北原 コズエ	みやき町国際交流会	—	教室のコーディネーター
	中村 静佳	にほんごきいまん	—	教室のコーディネーター
	武田 朋子	みやき町国際交流会	—	システムコーディネーター
	大坪 学	みやき町	主幹	システムコーディネーター
	平野 佑弥	みやき町	主査	システムコーディネーター
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	砂川 裕一	群馬大学	名誉教授	継続(4年目)
	八木 浩光	一般財団法人熊本国際交流振興事業団	常務理事	継続(4年目)
	米勢 治子	東海日本語ネットワーク	副代表	継続(4年目)

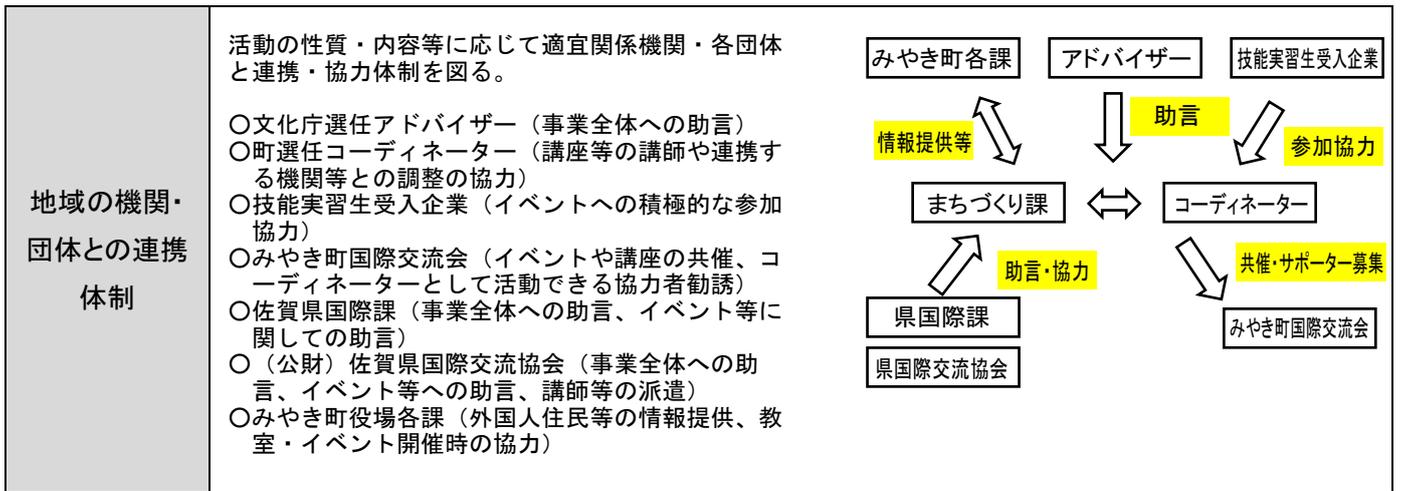
3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	<p>町が事業主体となり、まちづくり課を中心に、コーディネーターとともに事業の立案等を行う。その際、有識者であるアドバイザーからの助言を基に事業等の検討を行う。</p> <p>事業を行うにあたり、庁内関係部署に情報提供や職員派遣等の協力を要請する。</p>		
所属(担当課)	職名	担当者名	
まちづくり課	永淵 博朝	課長	
まちづくり課	大坪 学	主幹	
まちづくり課	平野 佑弥	主査	
みやき町国際交流会	橋本 美雪	コーディネーター	
みやき町国際交流会	北原 コズエ	コーディネーター	

にほんごきいまん	中村 静佳	コーディネーター
みやき町国際交流会	武田 朋子	コーディネーター

(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
佐賀県	国際課	多文化社会コーディネーター	北御門 織絵
(公財)佐賀県国際交流協会	—	主事	平 実穂
みやき町国際交流会	—	会長	大森 斉
みやき町	住民窓口課	課長	相馬 恵子
みやき町	総務課	課長	黒田 栄治
ピックルスコーポレーション西日本	—	工場長	木村 誠
ポローニヤマックス	—	—	石野 恵里
群馬大学	—	名誉教授	砂川 裕一
熊本市国際交流振興事業団	—	常務理事	八木 浩光
東海日本語ネットワーク	—	副代表	米勢 治子
みやき町国際交流会	—	副会長	橋本 美雪
みやき町国際交流会	—	—	北原 コズエ
みやき町国際交流会	—	—	武田 朋子
にほんごきいまん	—	—	中村 静佳

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和4年 4月	・コーディネーター会議(2回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・オンライン教室(試行)(2回)	・コーディネーター会議 (令和4年度事業計画策定、4月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 5月	・コーディネーター会議(1回) ・アドバイザー会議(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回) ・コーディネーター研修(1回)	・コーディネーター会議 (5月日本語教室の内容協議) ・アドバイザー会議 (令和4年度事業計画) ・日本語教室における企画調整業務 ・とよた日本語システム参加(北原 Co)	★令和4年度事業計画の助言・指導(オンライン)
令和4年 6月	・コーディネーター会議(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (6月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 7月	・コーディネーター会議(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (7月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 8月	・コーディネーター会議(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (8月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 9月	・コーディネーター会議(2回) ・日本語教室(水曜教室) ※日曜教室は、台風接近により中止	・コーディネーター会議 (9月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 10月	・コーディネーター会議(2回) ・アドバイザー会議(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (10月日本語教室の内容協議) ・アドバイザー会議 (日本語教室視察、事業中間報告) ・日本語教室における企画調整業務	★日本語教室運営の助言・指導(来訪)
令和4年 11月	・コーディネーター会議(2回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (11・12月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和4年 12月	・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回) ・ミニ教室(臨時教室)(2回)	・日本語教室における企画調整業務 ・ミニ教室運営(北原 Co、武田 Co) ※ネパール人児童の日本語学習	
令和5年 1月	・コーディネーター会議(2回) ・日本語教室(日曜教室)(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (1・2月日本語教室の内容協議) ・日本語教室における企画調整業務	
令和5年 2月	・コーディネーター会議(2回) ・アドバイザー会議(1回) ・日本語教室(水曜教室)(1回) ・日本語教室(日曜教室)(1回)	・コーディネーター会議 (2月日本語教室の内容協議) ・アドバイザー会議 (事業報告、今後の取り組み) ・日本語教室における企画調整業務	★事業報告書、今後の日本語教室運営の助言・指導(オンライン)

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	みやき町日本語ひろば ～ちかっくにほんご～
-------	-----------------------

外国人参加者について	[国籍]ベトナム 12名、ネパール 5名、スリランカ 3名、インドネシア 3名、タイ 2名、フィリピン 2名 [属性]技能実習生や家族滞在等が主な対象	
参加者数 (内 外国人数)	外国人学習者 97名 サポーター 92名	
開催時間数	総時間 30時間	内訳 日曜教室 1.5時間 × 10回 水曜教室 1.0時間 × 12回 ミニ教室 1.5時間 × 2回
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に居住する外国人が、住民のひとりとして、地域における生活の安定、積極的な社会活動が行えるよう、文化、習慣及び各種生活情報について、交流を通じて学べる場を提供する。 ・日本語サポーター(ボランティア)及び外国人参加者が互いを尊重し、信頼できる関係性を構築し、多文化共生の推進を図る。(A:日曜教室) ・日本語教師による日本語を学習する場を提供し、日本語スキルの向上を図る。(B:水曜教室) 	

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2022年 4月6日(水) 19:30~20:30	1.0	オンライン	0	オンライン教室 (試行)	・日本語での会話練習 ※参加者なしのため、コーディネーター研修を実施	サポーター 0名
2	2022年 4月20日(水) 19:30~20:30	1.0	オンライン	0	オンライン教室 (試行)	・日本語での会話練習 ※参加者なしのため、コーディネーター研修を実施	サポーター 0名
3	2022年 4月24日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	2	(A)生活① 料理について	・料理に使う食材、食材、 作業工程の日本語表現	サポーター 9名
4	2022年 5月11日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	2	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 5名
5	2022年 5月22日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	6	(A)生活② 買い物について	・買い物のための会話練習	サポーター 6名
6	2022年 6月1日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	0	(B)日本語学習	・日本語での会話練習 ※サポーターZoom研修 を実施	サポーター 5名
7	2022年 6月19日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	4	(A)生活③ 仕事について	・日本と外国の職業について話す	サポーター 9名
8	2022年 7月6日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	4	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 2名
9	2022年 7月24日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	2	(A)防災① 災害について	・自然災害の備えについて話す ※日本語学習に変更	サポーター 6名
10	2022年 8月3日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	5	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 3名
11	2022年 8月21日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	4	(A)防災② 災害について	・自然災害の備えについて話す	サポーター 4名
12	2022年 9月7日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	4	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 3名
13	2022年 10月5日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	0	(B)日本語学習	・日本語での会話練習 ※サポーター研修を実施	サポーター 3名
14	2022年 10月9日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	13	(A)防災③ 防犯について	・日本で起こる犯罪、防犯について話す	サポーター 9名

15	2022年 11月2日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	3	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 1名
16	2022年 11月20日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	16	(A)医療① 医療について	・身体の症状を伝えるための会話練習	サポーター 8名
17	2022年 12月4日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	7	(A)医療② 医療について	・病院での会話練習	サポーター 3名
18	2022年 12月14日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	0	(B)日本語学習	・日本語での会話練習 ※サポーターミーティングを実施	サポーター 1名
19	2022年 12月26日(月)	1.5	みやき町 こすもす館	2	日本語学習 (ミニ教室)	・日本語での会話練習	—
20	2022年 12月27日(火)	1.5	みやき町 こすもす館	2	日本語学習 (ミニ教室)	・日本語での会話練習	—
21	2023年 1月11日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	3	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 1名
22	2023年 1月22日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	7	(A)医療③ 医療について (まとめ)	・身体の症状、病院での会話練習	サポーター 8名
23	2023年 2月1日(水) 19:30~20:30	1.0	みやき町 こすもす館 +Zoom	4	(B)日本語学習	・日本語での会話練習	サポーター 1名
24	2023年 2月19日(日) 13:30~15:00	1.5	みやき町 こすもす館	7	(A)生活 ごみ出しについて	・ごみ出し方を学習 (ごみ出しガイドブック活用)	サポーター5名

【主な活動】



2022/5/11
水曜教室(対面+Zoom)



2022/8/3
水曜教室(日本語学習)



2022/12/4
日曜教室(医療)

教室の立ち上げに係る問題とその対応策	<p>令和4年度においては、テーマを「生活」、「防災」、「医療」に分類し、テーマごとに連続して行い、一つのテーマをより深く理解できるよう工夫した。</p> <p>学習者のほとんどが、自転車以外の移動手段がなく、自宅での受講が可能なオンライン教室を並行して実施したが、参加が皆無であった。技能実習生の勤務時間や休日も企業ごとに異なるため、外国人が参加しやすい日程等を調査し、改善していく必要がある。</p>
--------------------	--

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
事業活動の広報	2022年6月~2023年2月(全8回)	日本語教室の活動を地域住民へ幅広く周知するため、町広報に日本語教室の活動を掲載した。 広報みやき 6月号、7月号、8月号、9月号、10月号、12月号、1月号、2月号(8回)

外国人向けガイドブック作成	2022年12月	環境福祉課(ごみ担当課)において、外国人向け「ごみ出しガイドブック(やさしい日本語版)」を作成し、日本語教室の教材として活用した。
外国人住民への相談対応	2022年7月～	本年度において、ネパール人父子が家族滞在で来日したことにより、コーディネーターが中心となって、就学・生活支援を行った。 母親以外日本語が全く話せない状況の中で、通学に必要な用具等の調達、小学校での日本語学習支援、長期休業中のミニ教室、生活全般のサポート等を行い、外国人の不安を取り除くとともに、生活の安定化を図り、地域活動への参加を呼び掛けた。 この父子については、日本語教室にも参加しており、新たな学習者の増加に繋がった。

【主な活動】



広報みやき 2022/12月号



ごみ出しガイド
(やさしい日本語版)



外国人の生活支援
(気功体験)

5. 今年度事業全体について

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室の実施については、台風接近による中止(9月:日曜教室)を除いて、計画どおりに実施した。 先進地視察やサポーター養成講座等の研修に係る活動については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ実施しなかったが、外国人の参加がなかった教室の時間を活用して、サポーター研修を行った。 日本語教室の案内等の企業訪問を継続的に行っており、事業所との良好な関係を保ちつつ、外国人の教室参加に結びついている。
事業推進にあたり問題点と対応策	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防対策、学習者の利便性向上を図るため、オンライン教室を対面型教室と並行して実施したが、学習者の参加がなく効果がなかった。 オンライン教室に参加しない理由の検証に至らなかったため、今後において、外国人が参加可能な曜日や時間、通信環境を把握し、学習者の参加しやすい環境を整えていく必要がある。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の場面をテーマにしたことにより、日本における身近な生活習慣や言葉を学ぶことができた。 日本語教室において、これまでの経験により、学習者の日本語レベルに応じて、グループ分け、サポーターの配置、学習内容等を判断し、スムーズな教室運営を行うことができた。 町広報紙により本事業を紹介したことにより、広く地域住民に活動が認知されてきている。
地域の関係者との連携による効果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度において、外国人の小学生が来日したことで、コーディネーターを中心に日本語学習をはじめ、就学・生活支援を行い、学校や地域と連携したサポート体制ができた。 日本語教室が地域住民に認知されてきたことで、外国人の情報がコーディネーターに集まり、新規学習者の参加に繋がっている。 庁内においては、「ごみ出しガイドブック」、「防災ガイドブック」のやさしい日本語版を担当部署において作成するなど、庁内でも外国人住民に配慮する意識が高まってきている。

<p>コーディネーターの 主な活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定(1.5 時間) ・日本語教室の企画調整会議(24.0 時間) ・日本語教室(46.5 時間) ・コーディネーター研修(3.0 時間) 北原 Co:とよた日本語学習支援システム参加 <p>コーディネーターA(69.00 時間) コーディネーターB(73.50 時間) コーディネーターC(71.50 時間) コーディネーターD(40.25 時間)</p>
<p>アドバイザーの 主な助言</p>	<p><運営体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度以降の「自走」を見据えた運営体制の整備 ・コーディネーターの後継者育成 ・庁内他部署、他機関との連携 <p><日本語教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室で使用する資料の工夫(学習者が書き込めるスペース) ・サポーターミーティング(教室振り返り) ・テーマに沿った人材の活用(他部署・他機関の協力)
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアッププログラムを活用し、日本語教室の開設に向けた取り組みを行ったことで、本町における日本語教室の基盤を整備することができたが、今後、日本語教室を維持し、拡充を図るために、中長期的な事業計画、マニュアル等の整備をはじめ、現スタッフの交代を見据えた新たな人材確保・育成を行っていく必要がある。 ・外国人の参加者が固定化しており、新たな学習者の参加を促すため、企業訪問等により、空き時間の把握やオンライン教室の推進を図っていく必要がある。 ・企業訪問等により外国人受入企業との良好な関係が保たれているが、外国人を日本語教室へ送り出すだけでなく、企業の職員等も積極的に参加することで、外国人の地域住民との関りを理解し、社会活動へ繋がるよう働きかけていく必要がある。また、企業等で働く外国人を取り巻く環境(業種、労働環境、生活環境等)を把握し、外国人の実態に即した日本語教室を検討していく必要がある。 ・企業で働く外国人や日本語教室に参加している外国人以外で、目が届きにくい潜在的な外国人についての情報収集に努め、生活の実態を把握し、積極的な社会参加、生活相談が行える環境を整える必要がある。
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の開催については、現行の月 2 回を継続して行う。 ・日本語教室の活動を中高生等の若年層へ周知し、幅広い年代が、参加しやすい環境を整える。 ・外国人が地域社会で安心して生活できるよう、日本語教室を通じた多文化共生の推進を図っていく。

本件担当： みやき町役場 まちづくり課 定住総合対策担当